

## 1 森林整備

### ① 私有林整備

#### ○ 公共造林事業 【32,515千円】

森林経営計画作成者が実施する公共造林事業について、助成することで、森林所有者の負担軽減をはかりました。

昨年度から事業費で30%弱の増加となり、特に鳥獣被害防止が67%増となっています。

|        |         |         |        |          |          |
|--------|---------|---------|--------|----------|----------|
| ・間伐    | 11.32ha | 580千円   | ・下刈り   | 209.22ha | 10,004千円 |
| ・広葉樹植栽 | 0.48ha  | 58千円    | ・造林    | 67.04ha  | 9,739千円  |
| ・鳥獣害防止 | 34.39ha |         | ・間伐作業路 | 8,000m   | 4,000千円  |
|        | 23,065m | 8,134千円 |        |          |          |

#### ○ 森林作業道等整備事業 【6,731千円】

市内6カ所において作業路の維持補修を実施しました。



A線（補修）  
L=560m W=3m



B線（不陸整正）  
L=630m W=3m

### ② 森林保護対策

#### ○ 久住山系被災登山道等周辺整備 【828千円】

R2豪雨で被災した登山道整備及びその周辺の森林整備を行いました。また、久住山に関係するボランティア団体が実施している登山道整備に対し原材料費等の支援を行いました。



火災で延焼し白骨化した  
ミヤマキリシマの枝の除去



橋桁掛替え



崩壊した沢を横断  
する登山路復旧

登山道整備  
原材料費等支援

498千円  
330千円

登山道支障木枯死木除去  
崩土防止柵、階段、  
木製橋、講師謝礼等



○ クヌギ林再生整備 【5,600千円】

椎茸生産者の減少により、クヌギ林の適正な管理が滞り、大径化したクヌギが多く見受けられることからクヌギ林の再生整備を行いました。これにより、クヌギ林の再生と同時に原木供給体制を整え椎茸生産者の負担軽減を図っています。



実施前  
下刈り～集材 11ヵ所 11.34ha

実施後

○ 松くい虫防除 【2,199千円】

久住高原の松並木を保全するため松くい虫対策として、国庫事業を活用し樹幹注入による防除を行いました。

総事業費 2,701千円  
国・県補助金 502千円



③ その他（森林整備）

○ 送配電網周辺森林整備 【11,738千円】

倒木による停電等の送配電線への被害を未然に防止するため、樹木の事前伐採を電力事業者と協業して取り組みを行いました。

なお、森林環境譲与税の活用状況を周知するため、案内板を設置しました。



配電線周囲 2 m の上空及び下部の支障木除去



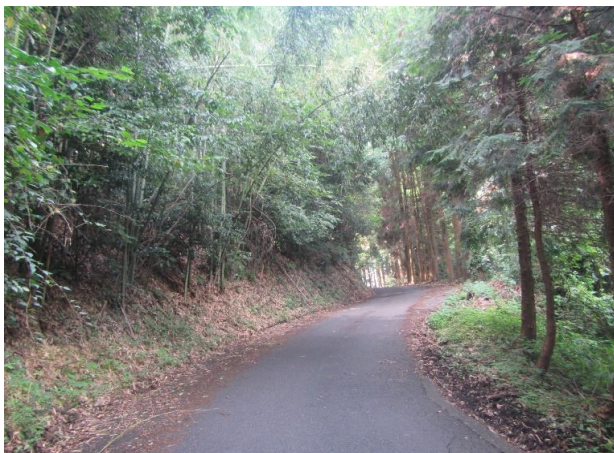
森林環境譲与税案内板



○ 集落等森林整備・環境改善事業 【9,545千円】

多くの市道沿いでは竹や木が繁茂しており、通行に支障のある、あるいは後年において支障となることが予想される森林や樹木の伐採・除去を行いました。

地域コミュニティや自治会など12地区が取り組みました。



実施前



実施後

## 2 人材育成・担い手確保

### ① 担い手の確保

○ 再造林担い手確保支援事業 【250千円】

県の事業を活用し、主伐後の地拵え、植栽、下刈、獣害対策、間伐及び枝打ち等の造林・保育作業に従事し、2年未満の被雇用者に対して造林作業に特化したOJT研修を実施する認定事業体を支援しました。

### ② 林業就業者の育成

○ 林業人材育成・確保対策 【1,676千円】

森林整備に必要な人材の確保、後継者や担い手の育成を行っている林業事業体。

または間伐、下刈り等の森林管理のための施業への参入など、主伐期後の将来を見据えた取り組みをする林業事業体に対し、装備品の支援を行いました。

また、就業環境改善に関する支援や大分林業アカデミー研修者に対する受講支援を行いました。

取組事業体  
主な装備品

5事業体  
オーガ、ショックレスハンマー、空調服、刈払機、チェーンソーなど





### 3 木材利用の促進

#### ① 木造公共建築物の整備

##### ○ 県産財利用促進（文化財施設・運動公園） 【4,855千円】

文化財施設の老朽化した木製構造物の改修と運動公園にベンチを設置しました。



竹田荘



キリシタン  
洞窟礼拝堂



木製ベンチ

##### ○ 薪ボイラー設置工事及び設計業務委託 【38,168千円】

ゼロカーボンシティを目指す取組みの一環として、薪ボイラーを導入しました。導入に際し、燃料である木材を安定供給を図るため、電力事業者が送配電網周辺の森林を伐採した樹木、土木業者、林業事業者、個人が伐採し廃棄物として処理する□樹木を燃料として再利用することで化石燃料使用率の低減を図った施設としました。

- ・ 薪ボイラー設置工事設計監理業務委託  
事業費： 1,430,000円
- ・ 薪ボイラー設置工事  
事業費： 37,557,300円

財源内訳

森林環境譲与税基金： 36,737,000円  
一般財源： 820,300円  
合 計： 37,557,300円

- ・ 木材有効活用に関する基本協定書締結  
利用者： 指定管理事業者  
提供者： 送配電事業者



HEITZMANN社製薪ボイラー



供給された木材

#### 4 普及啓発

##### ① 木材・普及啓発

###### ○ 森林づくり活動支援事業 【297千円】

市内の小学生5年生を対象とした森林づくり教室を開催しました。この教室では、森林のもつ多面的機能や樹木の育成、管理を行い伐採し林産物を生産する林業について学習しました。



森林づくり教室の様子

#### 5 実行体制の整備

- |          |               |
|----------|---------------|
| ① 委員会    | 委員会開催         |
| ② システム関係 | 基幹・端末システム運用保守 |
| ③ 専門員の雇用 | 会計年度任用職員      |
| ④ 需用費    | 消耗品等          |